

「デジタルデザインキャンプ 2024」 CI（コーポレートアイデンティティ）プログラム 募集参考資料

社会が大きく変革する中で、
デザインとデジタルの活用から、新しい価値を見つけ、
自社で実践していくきっかけをつかむプログラム

「デジタルデザインキャンプ」

主催：石川県 | 企画・運営：一般社団法人 石川県情報システム工業会 | 協力：株式会社ロフトワーク

資料作成：株式会社ロフトワーク「デジタルデザインキャンプ2024」事務局運営チーム

※作成者に事前の許可および承認なくWebやSNS等へのアップロード、公開および内容の複製・再利用等を禁じます。

01

「デジタルデザインキャンプ2024」概要

※内容は参加企業数や企業さまにより一部調整になる場合がございます。

■デジタルデザインキャンプ2024とは？

企業ブランディングの基礎・実践方法を学ぶプログラム

「CIプログラム」とARやVRなどのデジタルツールの基礎・活用方法などを学ぶ「DDプログラム」の2本立てで実施するワークショップ形式の無料で参加できる集中プログラムです。

※「DDプログラム」の参加企業については、別途募集いたします。（※CIのみの受講も可能ですが継続受講が効果的です）

■CIプログラム

企業ブランディングの視点から「コーポレートアイデンティティ（CI）」を専門分野として長く関わってきたスペシャリスト達からの講義と言語化するワークショップ／ディスカッションを通して学ぶプログラム

- ・10/8-30にかけて、毎週水曜日に14:00-17:00（3時間）で講義とワークを実施（10/8, 10/16, 10/23, 10/30）

※10/8のみ10:00-17:00で実施

- ・10/9-11にプログラムに関連して参加企業さまの会社や工場へ事務局が訪問しインタビューを実施（必須）

- ・全て座学ではなく、実際にみなさまにもディスカッションに参加いただく内容です

このプログラムの目的・意図となる「問い」

Q：あなたの会社は何のため/誰のためにありますか？



A:その答えを見つけるきっかけとなる、
普段と違う仲間と、あらためて自分の会社について
一緒に見つめ直し、考え、
あなたの想い語ってもらうプログラムです。

このプログラムで得られるもの

■CI・自社のCI・MVV言語化シート/CI活用のロードマップ



自社が何のため、誰のためにあるのかを見つめ直し、
「軸」を持ってどうこれから戦略を作っていくか、
何から始めるかを決めていくためのきっかけをつくる。

※本プログラムは参加企業のみなさまご自身で講師や運営事務局のサポートを受けながら、自らブランディングやデジタルデザインの基礎を学び、実践していく内容となっております。

講師や事務局が個別支援としてのブランディングやコンサルティング、マーケティングや、ロゴ、パッケージ、ホームページ、広告等の実施や制作をするものではありません。ご了承ください。

02

実施プログラム内容

※講師や各回のプログラムは都合により変更になる可能性もございます。

CI

**いまのCIやMVVを参加者自身が
自分の言葉で解釈し、語れるようにする**

⇒CIやMVVは会社のインフォメーションでありコミュニケーションの指針であるはずですが、会社で決めたものがあっても、一部の人しか深く認知していないのであれば「社内体制」から見直していかないとただの「言葉」でしかありません。今いちど、見つめ直す機会とできればと考えております。



今回はこちらの参加企業様を募集しています。

DD

**ただ綺麗な完成品をつくるのではなく、
「いかに自社で活用していけるか」という視点を持って
プロトタイピングする**

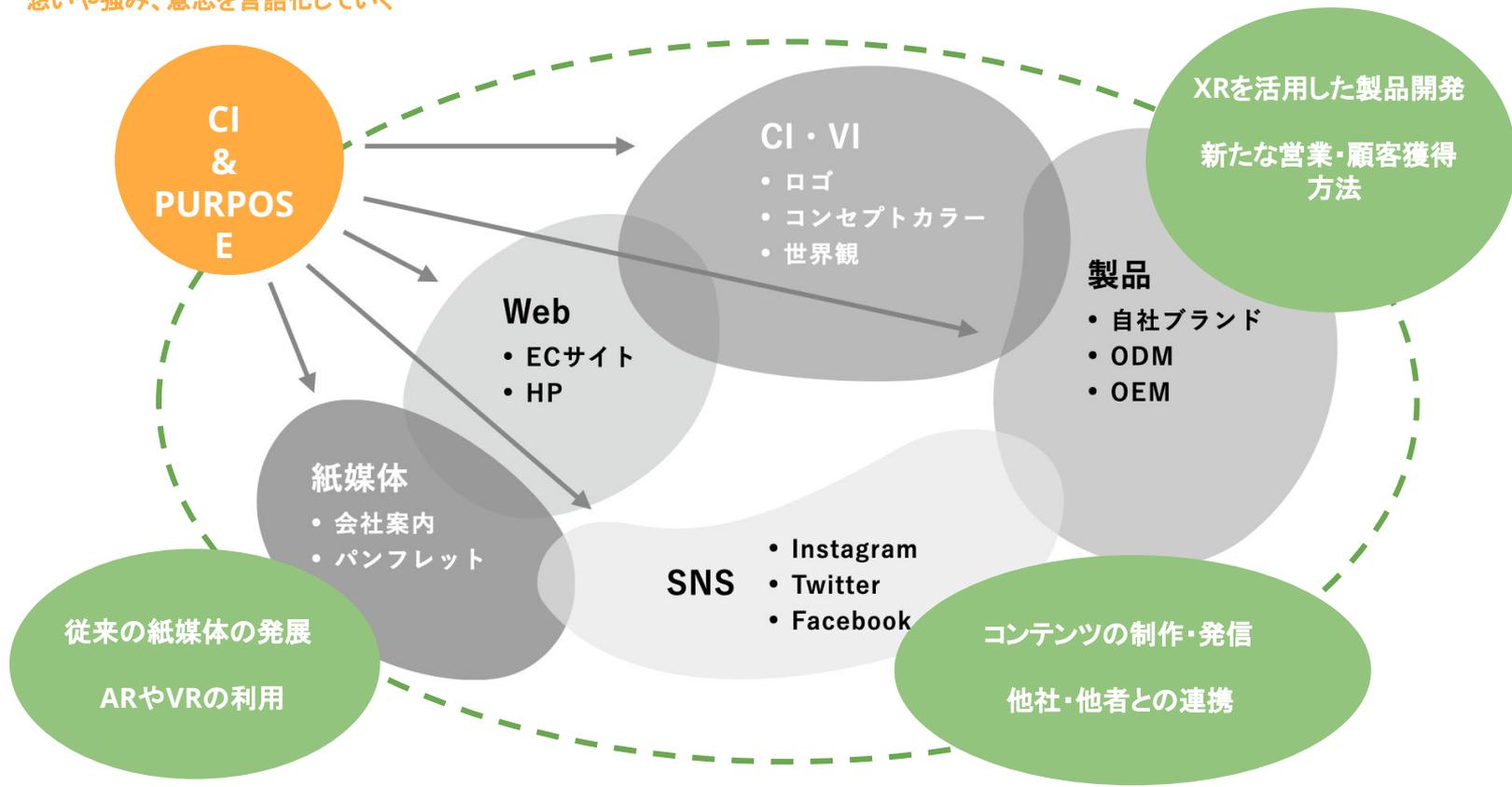
⇒そのためにはまず「XRの分野や種類・使い方」を知った上で体験いただき、「技術の体験会」で終わってしまわない、継続性や発展性のある内容を目指しています。

共通してプログラムは「自発的」「能動的」な参加をいただくことが前提となります。

プログラムの接続イメージ

CI: インフォメーションとコミュニケーションのための
想いや強み、意志を言語化していく

DD: デジタルデザインにより可能性を広げる・加速させる



プログラムタイムライン（予定）

CI

10/8（火）

10/9（水）~11（金）

10/16（水）

10/23（水）

10/30（水）

1,2 導入/自己理解

Ex 企業インタビュー

3 視点を知る

4 未来を考える

5 プレゼン

目的

- ・CIとMVVの重要性を理解
- ・自社の強みを知る
- ・自社のプレゼンスを知る

- ・状況や環境把握
- ・自社の課題理解
- ・言語化の手助け

- ・地域と外、会社の関係を理解
- ・広い視野を取入れる
- ・デザインの取入れ方

- ・未来の自社をイメージ
- ・デジタルの取入れ方
- ・未来とデジタルで視野の拡大

- ・成果発表
- ・未来についてのディスカッション

成果物

自社の歴史や文化、現在の目的が整理され、ワークを通して自社の
インタビューやワークを通して自社の

CIとMVVが参加者視点で読み解かれ、言語化されていく ▶

purposeを言語化していくことで「まずは誰に何を伝えていくべきか」を明らかにしていく ▶

MVVシートの完成、自社について語る

ロードマップの完成、何をすべきか見える

DD

11/27（水）

12/4（水）

12/11（水）

12/18（水）

1,2 導入/トレンド把握 プロトタイプ1

3 先進企業訪問

4 プロトタイプ2 導入方法の把握

5 プレゼン

目的

- ・XRの概要を改めて知る
- ・実際に簡単なプロトタイプを体験する

- ・XRを含めたデジタル活用企業を訪問
- ・導入のきっかけや活用方法を学ぶ

- ・具体性を絞ったプロトタイプ2
- ・企業に合わせた導入方法の把握
- ・導入ロードマップの作成

- ・成果発表
- ・未来についてのディスカッション

成果物

XRのなかでも AR・XR・VRについて大きく2パターン(空間系 /映像系)ほどから選択しプロトタイプ2をしていく ▶

自社にとって適切な朱瑠璃のデジタルデザインの種類や社内への導入方法、タイミング、活用例について把握していく ▶

プロトタイプ2を体験できている

導入に何がどう必要なのか把握できている

■プログラムの運営事務局・講師（CIプログラム：予定）

※DDプログラムの講師は追って紹介予定です。

全体企画・運営
株式会社ロフトワーク

広い意味での「デザイン」を
通して企業や地域の課題解決を
サポートする企業
自社事業も多方面と連携してに展開。



<https://loftwork.com/jp/recruit-ga>

各回の講師

※詳しくは別紙のCIプログラムフライヤーを
御覧ください。

1・2回目：
ナリカタデザイン相談室 代表
成田可奈子 氏

3回目：
andoyo アートディレクター
久松 陽一氏

4回目：コデザインリサーチャー/XRアーティスト
Sion Asada氏

※5回目にもレビュアーとしてゲスト講師を予定

各プログラムのおおまかなイメージ

自社のCI作成を通してPurposeをどこまで語れるようになっていくかで、DDの解像度は決まる。具体性や実現性にも紐づいていく。

CIプログラム

デザイン経営とブランディングの基礎を学び、CIの重要性を知ることで、CIとパーパスを「自分ごと」にしていききっかけを掴む。

MVVとCIの概要を学ぶ

- ・講師からのインプット
- ・MVVを言語化ワーク
- ・経営デザインシート活用

自社の強みや魅力を深掘りして言語化

- ・自社の言語化ワーク
- ・インタビュー
- ・社内へのヒアリング

他者に想いを伝える視点や手法を知る

- ・参加者間の交流
- ・プレゼンとディスカッション
- ・ロードマップ作成

【インフォメーション】

CI

自社の特徴や価値観を
参加者が自分の言葉で
整理し言語化できている

自社のストーリー

自社の言語化

【コミュニケーション】

purpose

自社の存在意義や
社会における目的を
参加者が自分の
言葉で語れている

共創の方法を理解

事業計画のきっかけ作り

DDプログラム

デジタルデバイスを通した、広い意味でのデザイン表現を知り、部分的に実践することで自社の魅力の発信と提案力強化を目指す。

提案力強化に向けた社会潮流を把握

- ・メガトレンドのインプット/整理
- ・講師からの事例の紹介
- ・先進企業見学による導入状況の把握

XRの可能性と適した手法を知る

- ・XRの種類や使用例を知る
- ・利用されている分野や成果を知る
- ・取り組み方や導入方法を知る

プロトタイプで自社での活用法を発見

- ・体験レベルでのプロトタイプ作成
- ・ゲストなどのサポートを経て制作
- ・自社へ導入のきっかけとなる手法体験

【デザインツールの活用】

DD

XRの社会潮流や実践者の
考えから自社での
活用方法を発見している

自社のXR活用法

技術導入のきっかけ作り

CIプログラム

デザイン経営とブランディングの基礎を学び、CIの重要性を知ることで、CIとパーパスを「自分ごと」にしていくきっかけを掴む。

LWIによる講義

- ・ワークシートを使って言語化
- ・デザイン経営の基本を学ぶ
- ・ロードマップをつくる

ゲスト講師からの講義やサポート

ブランディング基礎

言語化のサポート

石川県の地域性・特性

CIやpurposeからのDD活用

MVVとCIの概要を学ぶ

- ・講師からのインプット
- ・MVVを言語化ワーク
- ・経営デザインシート活用

自社の強みや魅力を深掘りして言語化

- ・自社の言語化ワーク
- ・インタビュー
- ・社内へのヒアリング

他者に想いを伝える視点や手法を知る

- ・参加者間の交流
- ・プレゼンとディスカッション
- ・ロードマップ作成

MVVシート

MVVシートの完成、自社について語れる

自社のCIやMVVを元にしたパーパスを自分の言葉で理解・言語化していくためのシート

ロードマップシート

ロードマップの完成、何をすべきか見える

3年程度の今後の自社の大きな目標やそれに付随するアクションプランを大まかに記載していったシート

【インフォメーション】

CI

自社の特徴や価値観を参加者が自分の言葉で整理し言語化できている

自社のストーリー

自社の言語化

【コミュニケーション】

purpose

自社の存在意義や社会における目的を参加者が自分の言葉で語れている

共創の方法を理解

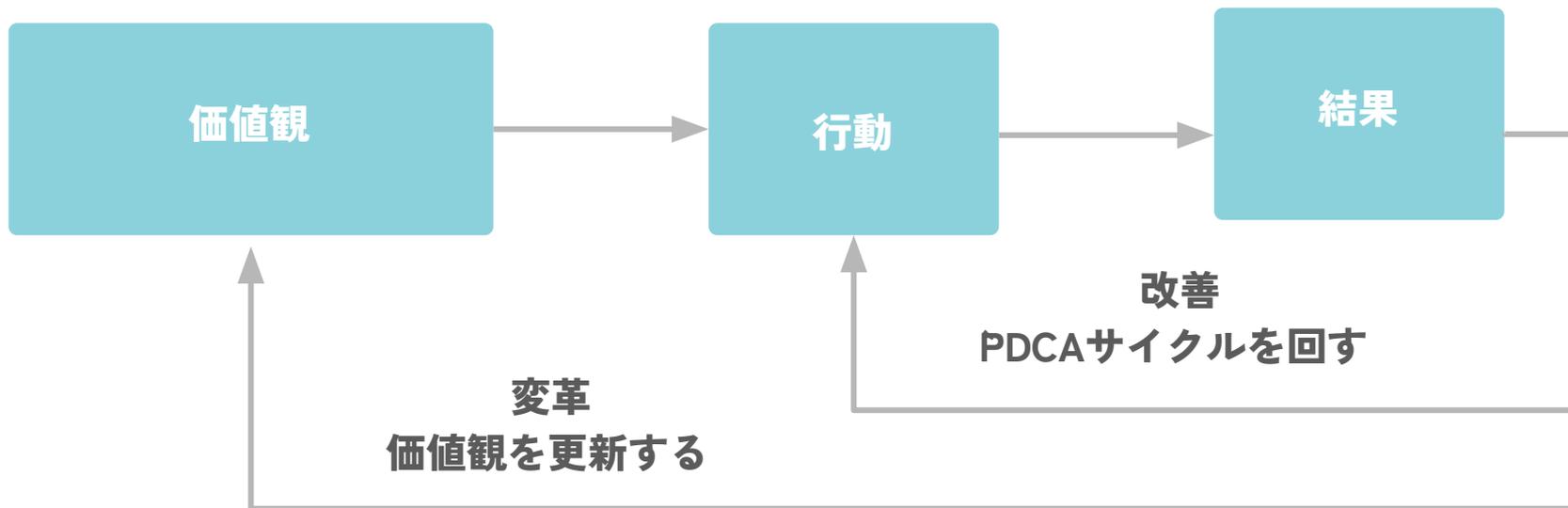
事業計画のきっかけ作り

事務局や講師によるブランディングやCI・MVV策定ではなく、企業のみなさまが目指したい未来に向かって進むためのアドバイスをします。

CIプログラム

■プログラムでお話しする内容やワークの一例（予定）

PDCAサイクルを回すだけでなく、前提となる自分たちの価値観を更新する



■プログラムでお話しする内容やワークの一例（予定）



自社の想いや自社らしさを、
顧客や社内外の仲間に伝え、
共感と共創の土壌を形成する営み
→ 「仲間」 に向き合う

自社の想いや自社らしさを
明確にし、未来の自社の姿を
構想する営み
→ 「自分」 に向き合う

自社の想いや自社らしさと
顧客や社会のニーズを基に、魅力ある
製品やサービスを創出する営み
→ 「顧客と社会」 に向き合う

■プログラムでお話しする内容やワークの一例（予定）

企業のあり方そのものを再定義することで、
既存事業に縛られない新しい価値の提供が可能になる

自動車をつくる会社

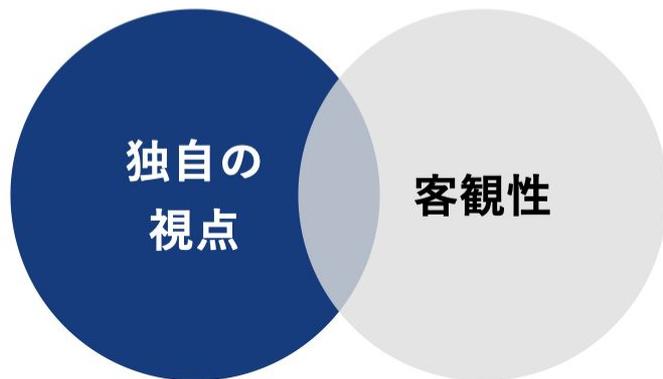


モビリティカンパニー

世界中の人々の『移動』に関わる
あらゆるサービスを提供する会社



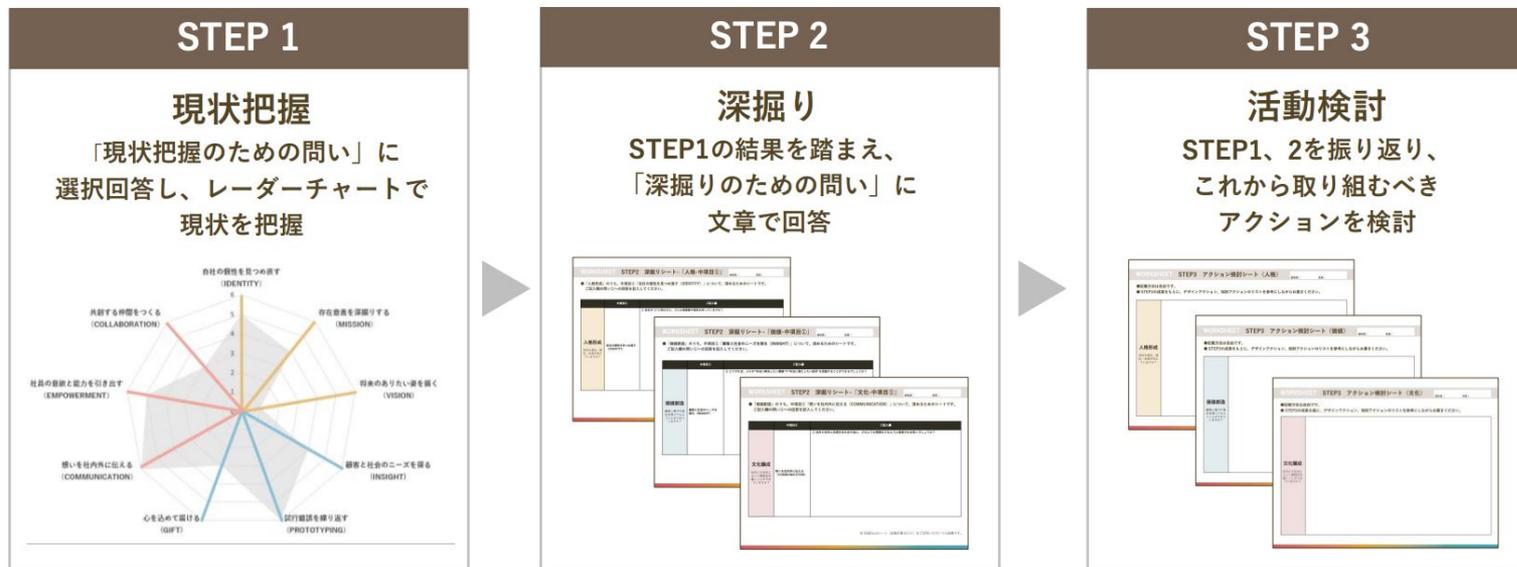
■プログラムでお話しする内容やワークの一例（予定）



企業の理念や思いが独りよがりなものにならず、
本当に社会に必要とされるために、
生活者視点で共感できるかを見つめ直して

ストーリーとして具現化

■プログラムでお話しする内容やワークの一例（予定）



- ✓ 自社の「伸びしろ」を知り、
- ✓ 実践に向けて自社が考えるべきポイントを探り、
- ✓ 取り組むべき具体的なアクションを考える

CIプログラム

■プログラムでお話しする内容やワークの一例（予定）

※どちらも他のワークでの結果を集約したり、段階を追って詳細化/具体化していきます。

MVVシート

MVV シート

Phase3 ■自社の現在を分析した結果を統合する

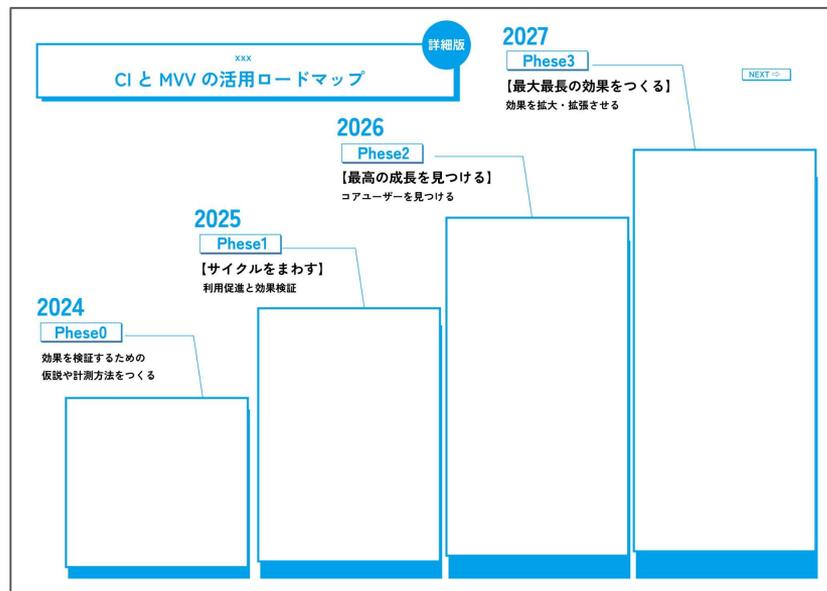
culture	purpose	value
	vision	
	mission	

■自社分析の結果、見えてきた MVV

WHY	WHAT	HOW	
なぜ存在しているのか	何もしてきたのか	どうやってきたのか	

■CIの意味・意義

ロードマップシート



03

応募条件・応募方法

※応募条件についてご相談があればお気軽にお知らせください。



■定員：10社（応募多数の場合は審査・抽選を実施）

■要件：石川県に事業所がある企業

応募した各プログラムのすべての回に参加できること

原則2名が毎回参加できること（原則：経営層/マネジメントの方を含む）

■参加費：無料（交通費や昼食代などは実費 ※ツアー時は施設見学日も含めて交通費・食費は同様）

■応募締切：9/25 ▶ [応募フォーム](#)

<https://forms.gle/XgtrWZURuqVsoAen8>

こんな方におすすめです！

- ・ 競合にはない自社の強みや、時代に合った新しい価値を発見したい
- ・ 提案力を強化しし、自社の思いを具現化したい
- ・ 顧客を単なる消費者でなく、自社の根強いファンにしていきたい
- ・ 自社の魅力を、価値として明文化し顧客や関連事業者に伝えたい
- ・ 事業承継のタイミングで、新しいビジネスモデルに舵を切りたい
- ・ デザイン的なものの見方や考え方を社内組織に浸透させたい

参考資料

全体設計・運営担当のロフトワークの事業および実施プロジェクト

※今回の事業内容や支援内容とは目的・内容が異なります、あくまでも参考資料としてご参照ください



デザイン経営の推進

https://loftwork.com/jp/news/2020/03/05_desi-gn-driven-management_report



経営者向けデザイン経営講座

<https://loftwork.com/jp/news/2020/10/02-dcr-aft-start>



デザイナーと協力したプロダクト開発

https://loftwork.com/jp/project/yaoya_project_phase1

運営事務局よりみなさまへ

本プログラムは参加は無料ですが、みなさまの貴重な時間と労力はいただきます。

プログラムは「デザイン経営」という長期的な視点を持った考え方で作成しています。

これは即時性のあるものではありませんが、10年といわず、5年、3年

もしかすると来年には「あの時に参加してよかった」と

ご自身で思える経験になるように努めます。

実践者たちと客観的な視点も交えて考えることで、新たな視点を得ること、

自分で言葉にしてみる機会、社内で動くきっかけに

うまくこの機会を使っていたいただければ、と事務局として思っています。